

# ひらびだより

No.3 2022.5.31

ぴっぴ15周年&ぼろぴっぴ10周年企画のぴっぼろキャンプではたくさんの方のご参加、ご協力本当にありがとうございました！雨予報の中でどんなキャンプになるのだろう、どんなことができるのだろうと期待と不安もありましたが天候に関係無く子どもも、大人もカッパを着ながら広場を走り回ったり、談笑をしたり、一人一人の表情から普段のぴっぴでの延長を楽しんでいるみなさんの姿が見られ一緒に1泊2日のキャンプが行えたこと、同じ時間を過ごせたこと嬉しく思います。たくさん楽しい思い出がありますが、特に印象的だった場面がいくつかありました。

雨の降る中でのキャンプファイヤー、点火の寸劇でまゆさんと火の精ケンタウルのやり取りが始まると、それまでタープの下で見えていた子どもや大人たちが2人を囲むように周りに集まり始めました。まるで観客も出演者の一人のように演じている人の周りに子どもたちが集い、幼年だった頃のケンタウルスがまゆさんに投げ掛けた『なぜぴっぴを作ったの?』の問いの再現に本当に当時周りでその話を聞いていた子どもたちかのようにでした。

夜の絵本の時間ではタープを叩く雨音がそこだけ別の空間とを感じるような包み込む雰囲気の中、まゆさんを囲む子どもたち。その外では子どもたちを囲む大人たち。特別で心地の良い時間が流れていました。

夜のテントからは興奮冷めやらぬ小学生の子ども達の楽しそうな声があちらこちらから聞こえて来て、大人の語り場ではぴっぴ保護者、ぼろの保護者が混ざり合って語らい、その場にいつの間にか中学生や高校生も混ざって夜深くまで一緒に語り合う姿もありました。



翌日は曇り空の隙間から日差しが覗き込み、広場ではまきえさんのヨガとオギタカさんの楽器のメロディが混ざり合い、その横でサッカーを楽しむ人たち、ナカジさんのコーヒーを飲みながらのんびりとした時間を過ごす人、遠くにはマラソンで汗を流す人たち、野鳥観察をして

いる人たち、オリエンテーリングを楽しむ子ども達の声、前夜に飲みすぎてテントの中で横になっている方、大人と子どもが自分の好きな時間を過ごし、バラバラで過ごしている様ですが、なんとなく一緒にいるような同じ空間の中で自然と溶け込んでいる雰囲気があり、ゆっくりと時間が流れていく感覚がとても贅沢で心地の良い2日間でした。また皆さんと一緒にたっぷりとのんびりした時間を過ごせる日を楽しみにしています。

:菅 悠介



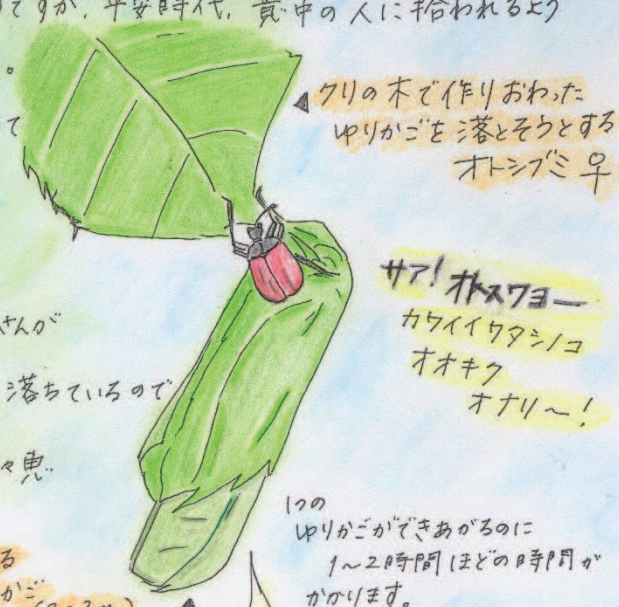
# 木のいきもの子育てばなし 6月

6月の森を歩いていると不思議な葉っぱの巻きものがいくつも地面におちています。  
これは「オトシブミ」という昆虫が作ったものなのですが、平安時代、貴族の人に拾われるよう願って落とした「落とし文」から名づけられました。

葉っぱのまきものの中には卵がみつけれられていて  
まかれた葉っぱを食べて赤ちゃんが成長する。

「食べられる 作りかご」なのです。

1cmにもみえない小さな小さなオトシブミのお母さんが  
赤ちゃんのためにと作ったものです。びっぴの森にも落ちていて  
ぜひ、みつけてみて下さい！ きっと感激しますよ！ 葉々鬼  
和は木アマン??です(笑)



クリの木で作っておいた  
作りかごを落とそうとする  
オトシブミ母

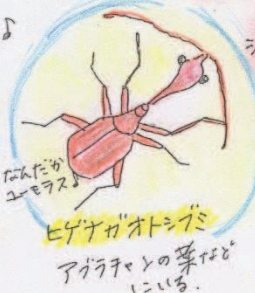
サア！ オトシブミ  
カライウツアシノ  
オオキク  
オナリ〜！

1つの作りかごができあがるのに  
1〜2時間ほどの時間がかかれます。



軽井沢の森にはおそらく6〜7種ほどのオトシブミが  
いるとおもわれますが、(作りかごから推測)  
まだ全種類出会ったことがありません。(小さくて...)

《びっぴの森でよくみる作りかごをつくるオトシブミ》



大募集!!  
オトシブミを守る会 会員募  
活動内容: 作りかごの道沿上(コンクリート)におちている、近くの土の上に卵を産む  
活動期間: 毎年6〜7月頃  
人間の開発により、オトシブミが作りかごを産むことが減っています。ぜひ、赤ちゃんを育ててあげて下さい。  
もしみつけたら、ぜひ、お力を貸して下さい。  
よろしく

# たんぼはたんぼ

UT

たんぼに水が張られ、水鏡のように景色を写す姿が大好きです。でもそれも あ、という間、田植えを終え小さな苗が水鏡の中で風になびいているたんぼが このあたりでも 大半を占めてきました。そんな田植えを終えた直後の田のことを、“早苗田(さなえた)”と言うそうです。(知らない言葉、って本当にたくさんあるなあ…) 早苗の「さ」は、早い、若々しいという意味のほか、この場合は田の神をさすとも言われているとか。

先日、そんな水が張られたたんぼに、おおきくみのみんなで(ろかき)に行ってきました。暖かい陽射しとさわやかな風に誘われ(?)、これまでたんぼに足を踏み入れようとしなかった人たち 何人かも泥の中へ、自然と入ってしまったような姿を見ることができて、嬉しかったです。

たんぼのはじで横一列に手をつないで、反対のはじまで歩いて(ろかき)…と思ったら、おおくりさんたち、みんな走ってる! おおくりは走るの!?! と思いながら、それぞれ思い思いに歩きまわったり走ってみたり、座ったり、たんぼにあいさつしたり(? 口のまわりだけどろどろ!) そのうちたんぼソリ競争が始まって。たんぼの外では応援してる人たちの姿。たんぼおいかけ、こもして、泥を落として 前日に入手したお風呂で休憩して、もうひとつのお楽しみのおサイ割り。重かったあと プラス晴れたいいお天気の下で みんなで割って食べたサイカ、格別でした! おいかった~! 午後また 入りたい人はたんぼへ、草原で草花や生きものと出会ったり、かけまわったり 探検したり… 最後にやりたい人で 角棒をひいて土をならして(その横で泥のかけ合い)、(ろかき)は終了。みんな おつかれさまでした。

この田畑たよりに目を通してくださっている頃は、“早苗田”になっているでしょうか…? お天気の様子でなかなか予定をお伝えしづらい状況で申しわけないですが、どうぞ よろしくお願ひいたします。

また、今年もお田植えを終えたあとの6月15日(水)ごろから、毎週水曜日の9時ごろ~11時ごろまでたんぼで草取りをしていますので、「あ、行こうかな」という気分になったときは、少しの時間でもフラッとぜひお立ち寄りください。それ以外でも、草取りご協力いただけたら嬉しいです。

